
秋田街道 国見・仙岩峠フォーラム2006

橋場から国見峠への江戸の道と一里塚

雫石町教育委員会社会教育課 柴田 慈幸

本日のメニュー

はじめに

～ 「秋田街道」と「江戸の道」の基礎知識

調査経過

～ 橋場・国見峠間の「江戸の道」ってどんな道？

“一応の” 中間報告と問題提起

～ よみがえる奇跡の古道のすがた

おわりに

～ 町の貴重な文化遺産の活用に向けて

はじめに

～「秋田街道」と「江戸の道」の基礎知識

秋田街道とは

- ・ 奥州街道と羽州街道を結ぶ脇街道
全ルートは盛岡から六郷まで
- ・ 街道の呼び名は基本的には行き先から
- ・ 簡単にいえば「秋田行きの」街道ならどの道も「秋田街道」
- ・ 一般的には盛岡・国見峠間を「秋田街道」と呼んでいる
- ・ 「雫石街道」「秋田往来」などさまざまな呼び名あり

はじめに

～「秋田街道」と「江戸の道」の基礎知識

「江戸の道」とは（あくまでも仮称ですが）

- ・盛岡藩と秋田藩を結んだ重要路線「秋田街道」の江戸時代の道
- ・現在の国道46号の基礎路線

道路や橋・松並木・旅程を示す一里塚などの整備

関所（橋場御番所）・宿舎・茶屋などの施設整備

- ・橋場・国見峠間は「明治の道」完成によりほとんどが廃道

「江戸の道」を歩いた人々

- ・巡検使 将軍家が諸藩の情勢を査察するため派遣する特使
- ・御馬買役人 幕府などから軍馬購入のため派遣される役人
- ・その他 役人・商人・旅行者などなど

調査経過

～ 橋場・国見峠間の「江戸の道」ってどんな道？

ルート確定作業は「現地踏査」と「資料分析」から



- ・ 橋場・国見峠間は地図上でも多くの道があることになっている
- ・ 実際歩いてみると山中にはいろいろな道地図にない道も！

調査経過

～ 橋場・国見峠間の「江戸の道」ってどんな道？

「江戸の道」の特徴

- ・ 基本は「歩き」！

ということは

- 1) なるべく最短距離
少しくらいの急勾

配も平気

- 2) 自然の影響を受け
にくくしたい

風の影響を抑える
「掘割道」



今もそのままのすがたで残る「掘割道」

調査経過

～ 橋場・国見峠間の「江戸の道」ってどんな道？

「構造物」のこと ～ 石碑と助小屋、一里塚!?

- ・ 資料にも存在が明記され、広く知られているもの
 - 1) 藩境石碑「従是西南秋田領」(的方)
 - 2) 藩境石碑「従是北東盛岡領」(国見峠)
 - 3) 「助小屋」跡地 (的方・国見峠間)
- ・ 資料には存在が明記されているが というもの
 - 1) 的方・国見藩境塚 それぞれ2基ずつ築いたらしい
 - 2) 国見・坂本御茶屋 それぞれ的方・坂本にあったらしい
 - 3) 「塚」 国見の山中にあるらしい これって、一里塚!?

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

これまでの調査で分かったこと

「道」に関して

- ・ 橋場から国見峠にかけて、ほとんどの区間に道が残っている！

「構造物」に関して

- ・ 橋場・的方面に「一里塚」と思われる塚を確認！

“一応の” 中間報告と問題提起

～ よみがえる奇跡の古道のすがた



“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程



橋場御番所
(跡地・推定)



左下拡大図

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の 「江戸の道」の行程

折戸沢入口

(= 「坂
本」 ?)

秋田越えの様子
橋場町 三四十丁出れば 右は小柳沢とて 水上は荒沢嶽 赤滝大明
神 シガ倉 赤子フリナ と言う沢に 国見の温泉 湯川等 一つに
あつまり来る川也 左は竜川 国見峠の道也 此所よりオリトノ沢と
言う所迄一筋の川を いく瀬も渡る也 四十八渡りと申す事也
時節によりて 橋のか、り居ることもあり 夫より 山にかゝる也
登り二里半 下り二里半 以上五里の大山也 頃は水無月初の旅なる
ため 雪ありて 未だ残雪ひや、かなるは 睦月の末つ方かと思れば

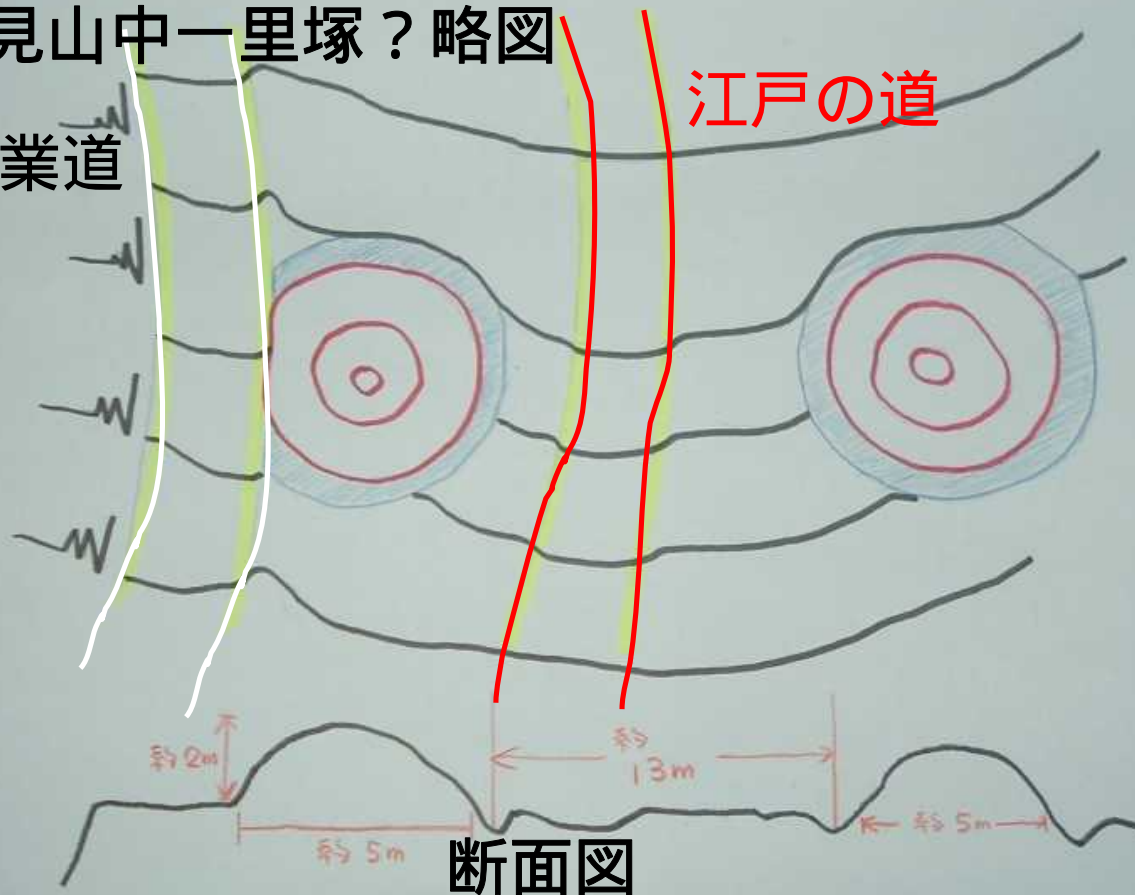
“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

国見山中一里塚？略図

作業道

江戸の道



橋場・国見間
の「江戸の道」
の行程

国見山中一里
塚？
(仮称)

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程 国見山中一里塚？（仮称）



国見山中一里塚？（南側）



（北側）

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程 国見山中の道



“一応の” 中間報告と問題提起

～ よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程



国見山中の道
～ 駒ヶ岳遠望

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程



的方藩境
「從是西南秋田
領」

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程



ヒヤ湯

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

橋場・国見間の「江戸の道」の行程



国見峠 藩境
「従是北東盛岡領」

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

一里塚のこと ～新たな問題提起



・国見山中一里塚？が
正式な一里塚とすると

近年の資料で「ない」
とされる橋場以西の
「一里塚」の新発見!!

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

ところで 「秋田街道」一里塚に関する仮説

・ 1里とは一般的に36丁（約3,927m） 「大道」

しかし！ 42丁（約4,582m） = 1里の計算もあったらしい

「小道」・「南部道」

* ちなみに 1丁 = 60間（約182m）

1間 = 約182cm

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

ところで 「秋田街道」一里塚に関する仮説

・では現存する一里塚間の距離は？

現存するのは「日向」「生森」「高前田」

+ 場所のわかっている「赤湊」

「日向」～「生森」 およそ4,570m

「生森」～「高前田」 およそ4,530m

「高前田」～「赤湊」 およそ4,770m

この距離だけ見れば、「秋田街道」の1里は42丁か？

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

ところで 「秋田街道」一里塚に関する仮説

- ・ 1里 = 42丁で計算すると

盛岡・国見峠間は地図上の計測ではおよそ37.47 k m

$37.47 \text{ k m} \div 1 \text{ 里} (4.582 \text{ k m}) = 8.177 \text{ 里}$

ということは、8つの一里塚が存在していた可能性！

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

仮説「秋田街道」盛岡・国見峠間の一里塚の位置

地点	地図上の距離	累計距離	塚間距離
盛岡鍛冶丁一里塚跡	9.78km	0km	(4.89km)
前瀧一里塚跡		-	(4.89km)
日向一里塚	4.57km	9.78km	4.57km
生森一里塚		14.35km	4.53km
高前田一里塚	4.53km	18.88km	4.77km
赤湊一里塚跡	4.77km	23.65km	

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

仮説「秋田街道」盛岡・国見峠間の一里塚の位置

地点	地図上の距離	累計距離	塚間距離
赤淵一里塚跡	3.70km	27.35km	(4.60km)
橋場御番所跡			
一里塚擬定地	3.88km	-	(4.59km)
滝沢合流点 (折戸沢入口手前)			
国見山中一里塚？	1.61km		

“一応の” 中間報告と問題提起

～よみがえる奇跡の古道のすがた

仮説「秋田街道」盛岡・国見峠間の一里塚の位置

地点	地図上の距離	累計距離	塚間距離
国見山中一里塚？	1.74km	32.84km	(4.50km)
的方藩境	0.87km	34.58km	
助小屋跡	0.92km	35.45km	
ヒヤ瀉	0.92km	36.37km	
一里塚擬定地	1.10km	-	
国見藩境		37.47km	(0.13km)

おわりに ~ 町の貴重な文化遺産の活用に向けて

今後も続く調査活動 今後の課題

街道のルート確定（未踏査区間の踏査も）

「一里塚」の検証（擬定地の調査）

「国見御茶屋」「坂本御茶屋」の位置特定

「国見峠藩境塚」の確認

街道沿いその他付属施設の有無確認

おわりに ~ 町の貴重な文化遺産の活用に向けて

歴史の道としての価値と活用方法

- ・ 「秋田街道」は、町の歴史と文化を語る上で第一級の資料
- ・ その価値は今後の調査活動で明らかにしていくことが大事

価値が明らかになれば、その活用方法も見えてくるはず

- ・ 街道全体の整備（刈り払い等）
- ・ 付属施設の復元
- ・ 関連施設の整備
- ・ 普及啓発活動

その可能性は無限

この発表がみなさんの何かの機会につながれば幸いです

ご静聴ありがとうございました。